

2025_0122 「浅間の劇的な日没（動画）」日々の理科 3821号

お茶の水女子大学 サイエンス&エデュケーション研究所 田中 千尋

冬至から約1か月が過ぎ、太陽の通り道（黄道）が少しずつ北寄りに戻ってきました。北軽井沢から見ると、ちょうど浅間山の山頂付近に太陽が沈みます。浅間山の噴気と太陽が重なり、劇的な日没が見られることがあります。この日も噴気がフィルター役をして、噴気の中に時折太陽の輪郭が見えていました。

(2025年1月下旬／北軽井沢／東京から遠隔観測)

